

# KEIKYU

# CSR

京急グループCSR報告書2010

# REPORT



# 2010

京急グループ CSR報告書 2010  
京浜急行電鉄株式会社 総務部  
平成22年11月発行

お問い合わせ

京急ご案内センター

TEL 03-5789-8686

または

TEL 045-441-0999

受付時間／平日 7:30~21:00  
土・日・祝日 9:00~17:00

**KEIKYU**  
京急グループ

## INDEX

京急グループの概要	1
トップメッセージ	3
<b>特集</b> 「羽田空港国際線ターミナル駅」開業	5
<b>Chapter 1</b> 安全・安心への取り組み	
鉄道事業の取り組み	9
バス事業の取り組み	13
その他の取り組み	14
<b>Chapter 2</b> 環境への取り組み	
鉄道事業の取り組み	17
バス事業の取り組み	18
その他の取り組み	19
<b>Chapter 3</b> 社会とのコミュニケーション	
地域社会とのコミュニケーション	21
お客さまとのコミュニケーション	23
株主・投資家とのコミュニケーション	23
従業員とのコミュニケーション	24
CSRマネジメント体制の構築	25

## 京急グループの概要

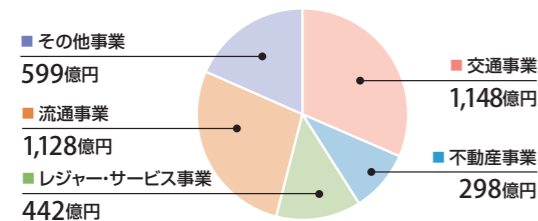
■ **事業フィールド** 良質なサービス・商品の提供により、皆さまの生活に貢献していきます。

交通事業	不動産事業	レジャー・サービス事業	流通事業	その他事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鉄道事業</li> <li>● 乗合・貸切自動車事業 (バス事業)</li> <li>● タクシー事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 不動産販売業</li> <li>● 不動産賃貸業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 旅行業</li> <li>● ホテル・旅館・飲食業</li> <li>● レジャー施設・ゴルフ場業</li> <li>● 水族館・遊園地業</li> <li>● 広告代理業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 百貨店業</li> <li>● ストア業</li> <li>● ショッピングセンターの経営</li> <li>● 物品販売業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建設・土木・造園業</li> <li>● 輸送用機器修理業</li> <li>● 電気設備工事業</li> <li>● ビル管理業 ● 情報処理業</li> <li>● 自動車教習所業</li> </ul>

### ■ グループ会社数・総従業員数 (平成22年3月末日現在)

<b>74社</b> 京浜急行電鉄(株)を含む	<b>9,465名</b> うち京浜急行電鉄(株)1,498名
----------------------------	------------------------------------

### ■ 事業別営業収益 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)



### ■ 京浜急行電鉄株式会社概要 (平成22年3月末日現在)

設立 昭和23年(1948年)6月1日  
 本社 〒108-8625 東京都港区高輪2丁目20番20号  
 資本金 437億円  
 代表者 取締役社長 石渡 恒夫  
 従業員 1,498名  
 主な事業内容 交通事業、不動産事業、レジャー・サービス事業、流通事業、その他事業



### ■ 編集方針

京急グループでは、グループ各社の社会貢献活動、環境活動をステークホルダーの皆さまにお伝えするため、平成20年に初めて「CSR報告書」を発行しました。

発行にあたっては、ステークホルダーの皆さまへわかりやすく情報をご提供するよう、平成21年度にグループ各社で取り組んだ活動実績を中心に、活動の前提となる企業理念や組織体制もあわせて報告しています。また、平成22年度の主な活動について、巻頭特集としてまとめてご報告しています。

<報告対象期間> 平成21年4月1日～平成22年3月31日。一部の活動は、平成22年度の内容も含まれます。

<報告対象組織> 京急電鉄を中心に、京急グループ74社の活動をご報告しています。

<発行時期> 平成22年11月

<参考にしたガイドライン> ● GRI「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン2006」 ● 環境省「環境報告ガイドライン(2007年版)」

## 安全・快適で暮らしやすい都市生活を 支える企業グループを目指して

京急グループは、基幹事業である交通事業はもちろん、京急グループのすべてのサービスと商品を安心してご利用いただくため安全確保に取り組み、それを担う人材の育成に努め、安全対策投資等を継続的に実施しております。

現在、京急グループの重要な戦略拠点である品川、羽田空港、川崎、横浜、三浦半島地区において、新規事業の推進や既存事業の強化を行っております。今後とも地域密着型の企業グループとして、沿線価値の向上に努め、地域の皆さまと一緒に発展してまいりたいと考えております。特に平成22年10月には、羽田空港の本格的な国際空港化に伴い「羽田空港国際線ターミナル駅」が新たに開業しました。日本の空の玄関口にふさわしい駅として世界中の皆さまに満足していただけるよう、安全面はもちろん、バリアフリーにも配慮しながら、出発ロビー階、到着ロビー階に直結するエスカレーターや大型エレベーターの設置など、お客様の使いやすさを最優先に設計いたしました。また海外からの皆さまにもご不便を感じさせないよう、ご案内カウンターを設置するなど、おもてなしの心を大切にしております。

また継続的な取り組みとして、環境負荷に配慮した鉄道車両やバス車両の導入など、さまざまな環境対策に取り組むとともに、障がい者雇用の促進、沿線観光

資源の積極的なPRなど、地域社会へ貢献していく活動を積極的に展開しております。

さらに私たちは、社会から信頼される企業グループであり続けるため、コーポレートガバナンス、内部統制、コンプライアンスなどCSRを推進するマネジメントシステム体制の構築・強化を図り、公正で透明性の高い経営に取り組んでおります。京急グループは、今後とも企業価値の最大化に努めるとともに、地域に根ざした企業集団として、都市生活を支え、社会の発展に貢献してまいります。



京浜急行電鉄株式会社 取締役社長

石渡 恒夫

### ■ 京浜急行電鉄(株) 社是 ■

#### 経営理念

- わが社は、都市生活を支える事業を通して、新しい価値を創造し、社会の発展に貢献する
- わが社は、伝統のもとに、創意あふれる清新な気風をもって、総合力を発揮し、社業の躍進をめざす
- わが社は、会社の繁栄と全員の幸福との一致を追求する

#### 行動指針

- 感謝と誠意をもって顧客に接し、サービスに努めよう
- たえず研鑽し、進取の精神をもって、可能性に挑戦しよう
- 誇りと責任をもち、相互の信頼を深め、仕事に取り組もう

### ▶ 京急グループのCSR活動

京急グループは、ステークホルダーの皆さまとの信頼を築くため、積極的な情報開示に努めることはもちろん、幅広いコミュニケーションを通じて信頼関係を構築し、社会の発展につなげていきます。

### ■ 京急グループとステークホルダーとの関係 ■





特集

「羽田空港国際線ターミナル駅」開業

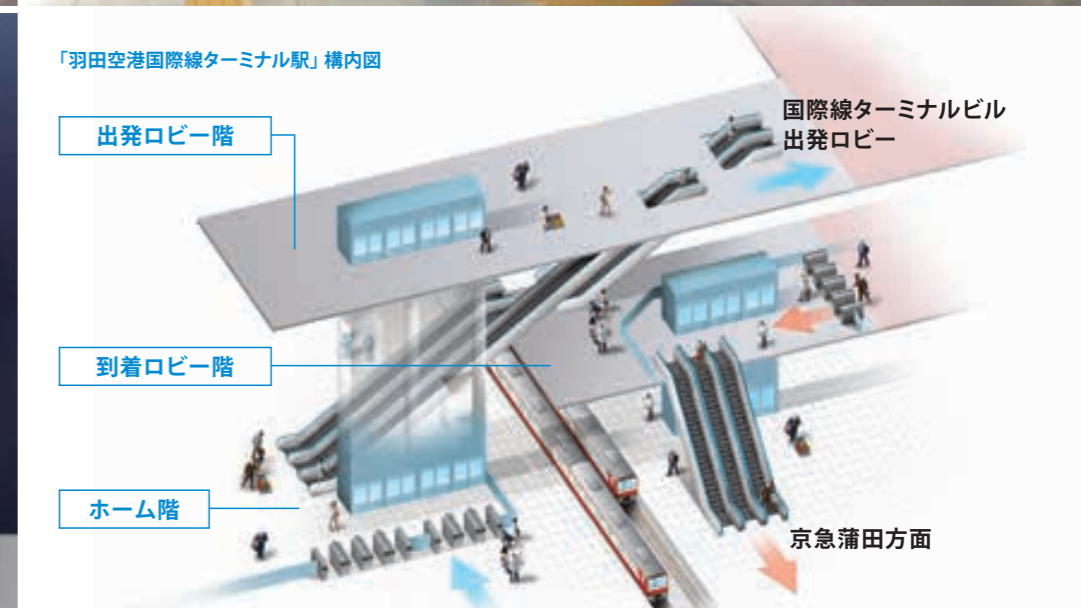
# お客さまが安全で使いやすく 人と環境にやさしい駅であるために

平成22年10月21日、羽田空港に新しく設けられた新国際線ターミナルへのアクセス駅として、

「羽田空港国際線ターミナル駅」がオープン。

国際空港にふさわしい駅として、ご利用されるお客さまもあなたにも、安全で使いやすいことを最優先に考え設計しました。

太陽光発電等の自然エネルギーも取り入れるなど、「人にも環境にもやさしい」駅が誕生しました。



## Commitment

京急電鉄 「羽田空港国際線ターミナル駅」 駅長

お客さまにとっても、駅スタッフにとっても気持ちのよい駅にしていきたい。

羽田空港国際線ターミナルに直結する駅の第一の使命は、お客さまがフライト時間に間に合うよう、安心して移動できることを考えています。

観光やビジネスなどでのご利用で、荷物の多い方やお身体の不自由な方は、移動に時間がかかる場合がありますので、スピーディーに的確にご案内することが大切です。

また、羽田空港国際線ターミナルは、都心に近く便利であるため、世界各国の方々にご利用されています。京急の「羽田空港国際線ターミナル駅」はさまざまなシチュエーションを想定し、ご利用されるお客さまが移動しやすく安全で、人にやさしい設備に設計されています。

日本の空の玄関口として、お客さまにとっても、駅スタッフにとっても気持ちのよい駅で、安心して快適にご利用いただけるよう「行きも帰りも京急で!」をモットーに、職員一同、高品質なサービスの提供に努めてまいります。



## 日本の空の玄関口の駅として「安全・安心」とお客さま満足を追求

国際空港は、その国の玄関口ともいえる公共インフラです。そのアクセス駅となる「羽田空港国際線ターミナル駅」は、国や身体的条件によらず、お客さま皆さまに安全で快適にご利用いただくことが大前提です。京急は、平成10年から10年以上にわたる羽田空港国内線ターミナル駅の運営経験を活かし、あらゆるお客さまが気持ちよくご利用いただける新しい時代の駅として、持てるノウハウを注ぎ込みました。

その基本は、バリアフリーとユニバーサルデザインの考え方に基づき、すべての利用者が使いやすく、そして公共交通機関として「安全・安心」を第一とした設計。駅舎というハードウェア

として最高の使いやすさを提供するとともに、開業後には国の玄関口としてスタッフによる「おもてなし」にも最高の評価をいただけるようにしていきたいと考えています。

特に安全・安心の面では、安全で快適な移動や事故防止に関して考え得る限りの工夫が駅自体に施されています。それにとどまらず予想を超える自然災害や国際線ターミナルでのテロなど不測の事態に備えて、ハードのみではなくスタッフなどのソフト面での対応の充実も不可欠であることから、研修などを通じて駅のスタッフのスキルおよびモチベーション向上に力を入れています。

## 安全でスムーズな移動のために

### 広いプラットホーム

線路を挟んで上下線それぞれに設けられたホームは、片側で「羽田空港国内線ターミナル駅」のホームと同じ広さが確保されています。国際空港に直結する駅として、荷物の多いお客さまがスムーズに移動できることを考慮した広さとなっており、空港ターミナルビルの荷物用カートが、そのままホームでもご利用になれます。さらにカート転落事故防止のためホーム柵を設けるなど、安全面でも万全の配慮をしています。



### 広い自動改札

車椅子をご利用の方や、大きな荷物をお持ちの方でも快適に通過できるよう、すべての自動改札の通路を通常より30cm広げ約90cmにしています。



### 大型エレベーター

出発ロビー直結の下り線ホーム階に4基、到着ロビーからつながる上り線ホームに3基、それぞれ30人乗りの大型エレベーターを設置しています。荷物用カートやキャリーバッグを乗せやすいよう扉は幅いっぱい開口します。スムーズな移動ができるよう、下り線のエレベーターは、未使用時は駅改札階で、上り線のエレベーターは、到着ロビー階で待機します。



### ゆったり傾斜のエスカレーター

ホームと出発・到着ロビーを結ぶエスカレーターは、どなたでも安心してご利用いただけるよう通常の傾斜より5度ゆるい25度で設計しています。また到着ロビー階はもちろんのこと、出発ロビー階へも乗り換えの必要がないエスカレーターが設置されています。

※ホームからエレベーター、エスカレーターまでは、まったく段差がないフルフラットのバリアフリー構造で、車椅子や大型の荷物用カートでもストレスなく移動できるよう配慮されています。



## 誰もが快適な駅を目指して

### 京急ツーリストインフォメーションセンター

2階到着ロビー階改札横の目立つ場所に「京急ツーリストインフォメーションセンター」を設置しています。英語、中国語、韓国語にも対応できるコンシェルジュがおもに訪日外国人のお客さまを対象に、乗車券類の発売のほか、交通・観光案内、ホテルやレストランの紹介も行います。観光案内については行政などと連携し、旬な観光情報を提供するなど、世界中のお客さまにとって安心な日本旅行ができるための情報を得られる駅となっています。



### 駅ナンバリング

「羽田空港国際線ターミナル駅」の開業によって、海外からのお客さまのご利用が増加することが予想されます。そのため、「羽田空港国際線ターミナル駅」の開業にあわせて「駅ナンバリング」を京急線全駅に導入しました。「駅ナンバリング」は、駅名とともにアルファベットで記載される路線名と数字で表示されています。これにより、日本語に不慣れな方でも、乗降駅がわかりやすくなります。

※「駅ナンバリング」の一例：「羽田空港国際線ターミナル駅」<sup>16</sup>



### ユニバーサルデザイン対応トイレ

トイレは、障がいをお持ちの方にも使いやすい多目的トイレを各階に完備しています。また、通常の男女別トイレも大きな荷物を持ったお客さまを想定し、ゆったりとした個室スペースをとり、すべての個室に手すりを付けるなど、どなたでも使いやすいユニバーサルデザイン対応にしました。



## 環境に配慮した駅を目指して

### 太陽光発電による自然エネルギーの活用

上り線ホームへの連絡通路の屋根部には、一面に太陽光発電パネルを設置。これにより発電される年間の電力は、「羽田空港国際線ターミナル駅」に7基ある30人乗りの大型エレベーターの年間の消費電力と同等です。

また、太陽光パネルは一部を光透過型とし、連絡通路内に自然光を取り込むことによって、照明にかかる電力を削減する工夫がなされています。駅内のモニターで常時発電量をお伝えするとともに、京急および大田区の環境保護への取り組みなどをお知らせしています。





誰もが安心できる社会を作り上げるために

# 究極の安全・安心の、その先まで

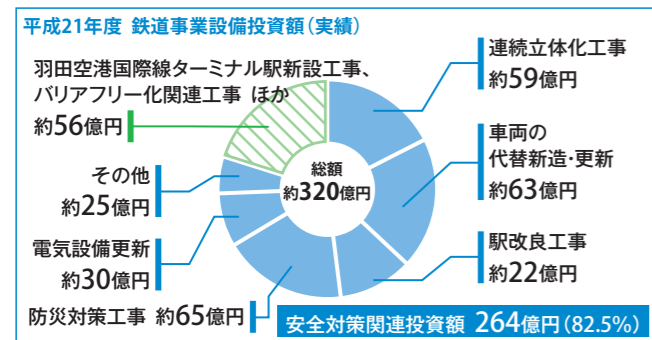
京急グループは、私たちがいま成し得る最善の取り組みを通じ、究極の安全・安心を目指しずっと走り続けてきました。しかし、安全・安心に完全やゴールはなく、「ここで終わり」というものはありません。現状のベストを尽くすとともに、視線は常に「その先」を見つめています。

## 鉄道事業の取り組み

### ▶ 安全・安心へのマネジメント体制

#### ■ 安全方針 ■

1. 安全最優先の意識の徹底を図るとともに、鉄道安全管理規程に基づき、安全確保に全力を傾ける。
2. 法令順守の理念の実現に向け、コンプライアンス規程に基づき、コンプライアンス体制の構築・強化を図る。



#### ■ 平成21年度 鉄道本部 安全重点施策 ■

- 安全の確保  
「全員が協力して輸送の安全の確保に努める。」  
- 安全は与えられるものではなく、一人一人が創るもの -
- 法令等の順守  
「ルールを順守することは、安全確保の根幹であり、社会的責務である。」  
「輸送の安全に関する法令および関連する規程の教育を計画的に策定・実施し、理解を深めるとともに、認識度の把握に努める。」
- 良質なサービスの提供
  - お客様の立場にたった案内の強化
  - バリアフリー設備の一層の充実による快適性の向上
  - 駅設備の安全対策の一層の充実
  - 橋梁改良、トンネル補修、法面防護などの耐震や防災などの安全対策工事の推進
- 高機能ATSの円滑な運用
- テロをはじめとする警備、警戒の強化
- 大規模工事(「羽田空港国際線ターミナル駅」建設、蒲田立体工事、大師線地下化等)の円滑な進捗
- 沿線価値の増大による鉄道の利用促進
- 見直しや改善を意識した施策の推進

### ▶ 鉄道事故復旧訓練

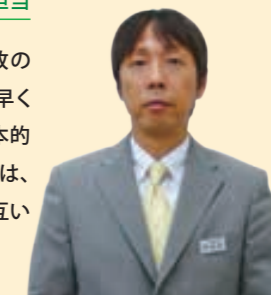
万一の重大事故発生に対処することを目的として、毎年秋に鉄道事故復旧訓練を行っています。28回目となる平成21年の訓練は、フェンスを突き破り線路内に侵入したトラックに列車が衝突する脱線事故を想定して、警察・消防のご協力のもと、約1,100名が参加・見学して実施しました。このうち、100名は一般公募のうえ、抽選で選ばれたお客さまです。



#### Point of view

京急電鉄 安全対策担当

鉄道事故では、事故電車の後から来た電車が事故現場に突っ込むなどの併発事故を防ぎ、事故の拡大を防止することが極めて重要です。そして、お客さまの安全を最優先したうえで、できるだけ早く運転を再開することで、お客さまに少しでもご迷惑をおかけしないことを考えなければなりません。基本的にはこの2つの点を目的として訓練を行っています。また、年に一度の大掛かりな「鉄道事故復旧訓練」は、一般の方を含めた多くの見学者の目の前で、日頃部署ごとに取り組んでいる訓練の成果を発表し、お互いの連携を確認する場でもあります。



### ▶ 高架橋・橋梁の耐震補強

平成21年度末現在、高架橋の橋脚部などにおける耐震補強工事の進捗率は84%となっております。

平成22年度も、地震発生時の高架橋の安全を向上させるため、引き続き横浜～南太田駅間と三浦海岸～三崎口駅間の耐震補強工事の完了に向け鋭意進めております。



横浜～南太田駅間

### ▶ トンネル補修工事

将来にわたり列車の安全運行を確保するため、トンネルの点検を定期的の実施しているほか、平成21年度は、泉岳寺～品川駅間、戸部～日ノ出町駅間、六浦～神武寺駅間、京急久里浜～YRP野比駅間で補修工事(覆工背面空隙注入工、断面補修工、漏水防止工)を実施しています。平成22年度以降も継続的に工事を進めていきます。



### ▶ 法面防護工事

がけ崩れなどの災害を未然に防止するための法面防護工事(落石防護柵・吹き付けなどの補強・切崩し)を推進し、平成21年度は、追浜～京急田浦駅間、安針塚～逸見駅間などで実施しました。

平成22年度も引き続き、北久里浜～京急久里浜駅間、YRP野比～京急長沢駅間などにおいて法面防護工事を進めています。

また弘明寺駅構内で法面枠組工を施行中であり、その他に六浦駅～神武寺駅間等で計画中です。

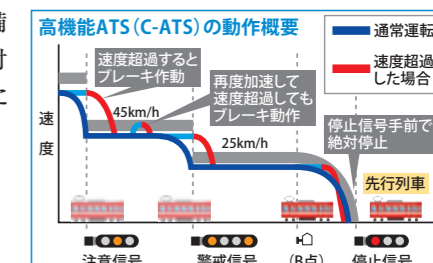


弘明寺駅構内

### ▶ ATS(自動列車停止装置)の高機能化

高機能ATSは、より細かい速度チェックを行うとともに、信号区間内を連続的に制御することが可能となりました。

停止信号の手前で確実に列車を停止させる「絶対停止パターン」や、カーブでの速度オーバー時に自動でブレーキがかかる「曲線減速パターン」など、過去の鉄道事故の教訓が活かされた機能が備わっており、従来型に対して安全性が格段に向上しています。



### ▶ 京急蒲田駅付近 連続立体交差事業

現在、京急蒲田駅付近で行っているこの事業は、本線の平和島駅から六郷土手駅までの延長約4.7km、空港線の京急蒲田駅から大鳥居駅までの延長約1.3kmの合計約6.0kmを連続的に立体交差化し、環状8号線および国道15号(第一京浜)を含む28か所の踏切道を廃止することで、踏切事故や交通渋滞を解消し、安全性向上や道路交通の円滑化を図ります。

平成13年12月から工事着手しており、平成22年5月には全事業区間の上り本線・空港線の高架切替を実施し、踏切道の遮断時間が約4割減少されました。さらに平成22年9月、環状8号線踏切付近の下り本線を高架化し、環状8号線を含む4か所の踏切がなくなりました。事業完成に向けて現在鋭意工事を進めています。



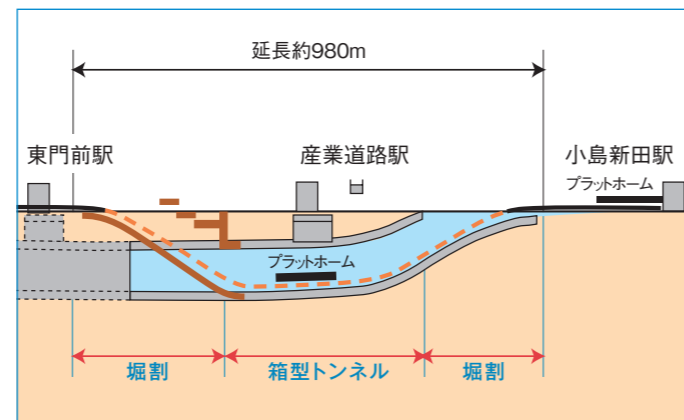
※本事業は、道路整備の一環として、国土交通省の国庫補助により、東京都の都市計画事業として施行するものです。

### ▶ 大師線 連続立体交差事業

川崎市の都市計画事業として行われている大師線連続立体交差事業(地下化)のうち、暫定的整備として、平成18年9月から東門前駅付近～小島新田駅付近の約980mの区間において地下化工事を行っています。

この工事により、産業道路第1踏切道を含む3か所の踏切道がなくなります。平成22年度は、平成21年度に引き続き、土留杭打ち、工事桁架設、掘削工事を進めています。

なお、大師線連続立体交差事業(地下化)は、大師線約5kmのほぼ全線を地下化することにより、計14か所の踏切道を廃止し、安全性の向上と道路交通の円滑化を図るものです。

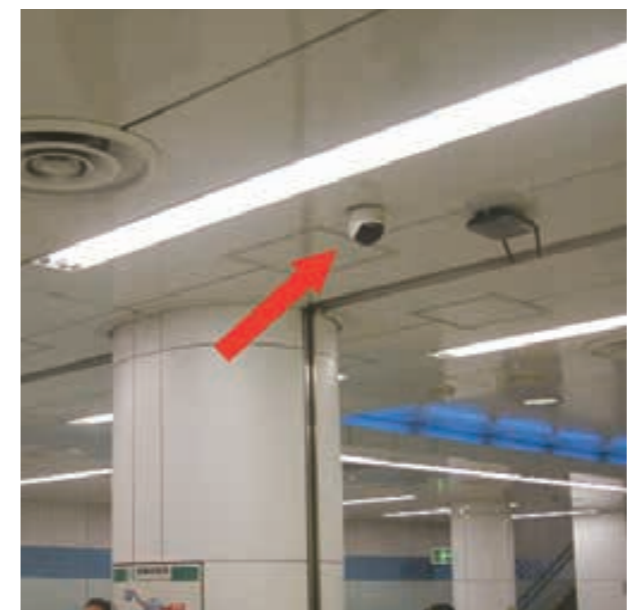


※本事業は、川崎市の都市計画事業の道路整備の一環として、国土交通省の国庫補助を受けて施行するもので、その財源は主にガソリン税、自動車重量税などです。

### ▶ 防犯カメラの増設

昨年に続き、駅構内への防犯カメラの増設を進めています。平成21年度は、107台増設し、平成22年9月末時点で452台設置しています。

今後も増設を予定しており、平成22年度末には全駅設置数が544台となる予定です。



### ▶ 事故などに備えた駅間の線路周辺状況図の整備

万一、駅間で列車事故などが発生した際に、駅係員や警察・消防関係者が迅速な初動対応ができるよう、全線の駅間の線路周辺の状況をまとめた資料を作成しました。この資料は、駅係員が現地調査を重ね編集したもので、沿線の警察・消防へも情報提供しており、平成21年5月には、神奈川県警察本部から地域警察活動に寄与するものとして感謝状が贈られました。



### ▶ 発車案内装置

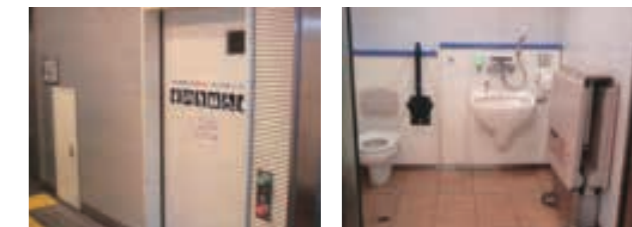
発車案内は、京急線をご利用いただくお客さまに対してわかりやすいものであることが重要です。平成21年時点で品川駅に4か国語表記の発車案内装置を設置しています。今後も京急蒲田駅・羽田空港国際線ターミナル駅・羽田空港国内線ターミナル駅・京急川崎駅・横浜駅の5駅について、4か国語表記の発車案内装置に更新を予定しています。



### ▶ 多機能トイレの新設

平成22年4月時点で、51駅に多機能トイレを設置しています。今後各駅のトイレ改修を積極的に行い、安全・清潔はもとより、安心してご利用いただける機能的なトイレの設置を目指してまいります。

なお、平成22年度末までには新たに13駅に設置する予定です。



### ▶ 駅係員・警乗警備員による巡回

鉄道テロ対策の一環として、駅係員や警乗警備員による巡回を行っています。駅係員の巡回時には、「警戒」と記された腕章を着用のうえ、実施しています。

また、状況に応じて警備員の配備体制を変更し、駅や車内の警備体制の強化を図っています。



## バス事業の取り組み

### ▶ 安全に対する基本方針

私たちは「輸送の安全確保が最も重要である」という認識を従業員一人ひとりが自覚することが大切であると考え、安全に対する投資を引き続き積極的に行うなど、さらなる安全性の向上に努めなければならないと考えています。

また、お客さまに対して安全性の向上と同時に、質の高いサービスを提供し続けていくことが、お客さまの満足度を高め、輸送の安全確保にもつながっていくと考え行動しています。

※京急バスグループおよび川崎鶴見臨港バスの輸送の安全に関する基本方針および「輸送の安全に関する目標および事故統計」は、各社Webサイト上でご覧いただけます。

- 京急バス  
トップページ▶バスの取り組み▶運輸安全マネジメントに関する取り組み
- 臨港バス  
トップページ▶そのほかのご案内▶運輸安全マネジメントに関する取り組み

### ▶ バスジャックなどの緊急事態への対応

バスジャックや車内におけるテロ、不審物、不審者など、緊急事態における適切な対応とお客さまの安全確保を目的として、京急グループのバス事業では、バス業界の基準をもとに、さらに充実させた独自のマニュアルを制作・運用しています。

また、突発的事態発生時における対処能力の向上や発生現場における連携強化を図るために、警察や消防、自治体等と協力して訓練を行っています。



### ▶ ドライブレコーダーの導入

万一の事故発生やお客さまからいただいたご意見・ご要望に対し、その原因究明を正確かつ客観的に行うため、最新のドライブレコーダーを順次導入しています。平成21年9月末現在、京急グループで975台を導入し、設置率は82%となりました。

速度を読み取り記録するデジタルタコグラフと連動したドライブレコーダーは、急発進や急ブレーキ時に解析映像が自動的に録画されるため、安全運転の改善指導や事故再発対策に活用しています。また乗務員の安全運転、エコドライブに対する意識向上にもつながっています。



### ▶ 車内事故防止キャンペーン実施

#### 川崎鶴見臨港バス

バス協会指導のもと、車内事故防止キャンペーンを実施しています。このキャンペーンは、車内事故がバス事故全体の約3割を占め、年々増加傾向にあることから、バス事業者全体の対策として実施しています。

1. 実施期間 平成22年7月1日(木)から7月31日(土)

#### 2. 重点項目

- (1) ゆとり乗降(バスが停車してから離席する。)の啓発
- (2) ゆとり運転(乗客が着席してから発車する。)の励行
- (3) 乗客へのシートベルト着用の徹底



### ▶ 車内事故防止キャンペーン実施

#### 京浜急行バス

京浜急行バスでは、夏および年末年始の繁忙期輸送を迎えるにあたり、年2回、安全輸送・サービス向上運動の一環として、交通安全キャンペーンを実施しています。平成22年7月14日には、京浜急行バスの主要なバスターミナルにおいて、バス車内事故防止に主眼をおき、各営業所の職員がバスをご利用されるお客さまに、車内事故防止等と呼びかけるとともにグッズを配布し、事故を未然に防ぐための啓発活動を行いました。

#### Point of view

京浜急行バス 事故防止担当

車内事故をなくすためには、乗務員、運行管理者が安全への意識をより強く持つことが必要です。またご乗車いただいているお客さまにも、完全にバスが停車してドアが開くまで座っていただくことが一番安全であり、そういったご協力があって車内事故が防げると考えています。

今後もお客さまへの注意喚起と、運転士のエコドライブの徹底によって安全運行を守っていきたくと考えています。



## その他の取り組み

### ▶ バリアフリーへの取り組み

#### 京急電鉄 京急百貨店

京急電鉄では、湘南佐島なぎさの丘における開発要件であった横須賀市営「佐島の丘温水プール」について、地域の皆さまが使いやすく安全にご利用いただけるよう全館バリアフリー対応とし、さらに障がいをお持ちの方用の整備なども計画に含め、平成23年4月のオープンを目指して平成22年7月に着工しました。施設のオープン後は横須賀市に移管(寄附)する予定です。

京急百貨店では、身体の不自由なお客さまにも快適にご利用いただくため、開店当初からバリアフリー化に取り組んでいます。段差のあるところには、スロープを設置するとともに車椅子優先エレベーターを設けています。また、5階お客さま用トイレには、小さなお子さまのおむつ交換や衣類の着脱のために横になることができるユニバーサルシートを設置しています。



### ▶ 安全セミナー・講習会などの実施

#### 京急自動車学校 葉山マリーナ

京急自動車学校では、近隣地域に居住する高齢者の方を対象に、交通安全に関する講習会「シルバードライビングスクール」を実施しています。自動車を運転する際の危険性や注意点などについて、実車指導などを通して安全運転を再確認していただいております。また、地域の小学生などを対象に、地元警察や自治体が行っている交通安全教室に講師として参加し、道路の安全な歩き方や自転車の乗り方、危険な場所や行動などについて指導しました。

葉山マリーナでは、ヨット・ボートオーナーおよび従業員に対して、船舶航行に関する海上安全講習会を海上保安庁のご協力のもとで実施しています。



### ▶ 防災訓練・自衛消防隊

#### 京急パシフィックホテルズ 京急百貨店 京急油壺マリンパーク 三崎観光

京急パシフィックホテルズでは、通常業務ではホテルマンとして勤務し、万一の有事の際には防災スタッフとして活躍する「自衛消防隊」を組織し、24時間365日のセキュリティ体制で防火、防災に努めています。防災スタッフは、消防法令で定める資格を有し、また心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)等の応急救護知識・技術を習得しています。この自衛消防隊は、毎年恒例となっている高輪消防署主催の「自衛消防訓練審査会」にも参加しています。

京急百貨店でも、年2回、港南消防署の指導のもとで、全従業員参加の防災訓練を実施しています。緊急地震速報発令時の対応、初期消火から消防署への通報、お客さまの避難誘導まで実際の災害発生を想定して実施します。さらに港南消防署主催の「自衛消防隊訓練協議会」にも参加し、防火、防災に対する従業員の意識向上も図っています。

京急油壺マリンパーク・三崎観光では三崎警察・三浦市消防署と合同警備総合訓練を実施。テロ対策、警護訓練、警察・消防への通報訓練、初期消火、負傷者搬送訓練などを行いました。

### ▶ 食の安全・安心

#### 京急伊豆開発 京急フレッシュワン

京急伊豆開発が運営する伊豆長岡京急ホテルでは、調理盛り付け時、仕訳時、食事提供時にそれぞれ異物の混入がないかの確認を徹底しているほか、害虫駆除も積極的に進めています。

地域でスーパーマーケットを展開する京急フレッシュワンでは、商品管理の徹底を行い、冷蔵庫・冷凍庫の温度管理チェックや消費期限(賞味期限)のチェックおよび商品の破れ、モレ、変色などのチェック、商品の先入れ・先出しの順守などに取り組んでいます。

### ▶ お客さま参加型の食育活動

#### 京急ストア

京急ストアは、食の安全・安心への取り組みの一環として、お客さまに「食」の大切さを知っていただくため、「食の安全・安心と健康」「食の文化とマナー」「食の環境」という3つの柱を掲げています。

お客さま自らが参加していただけるような食育活動を積極的に展開し、年10回程度、各取引先企業さまご協力のもと、工場見学などを実施しています。





地球温暖化防止と低炭素社会実現のために

# 「環境にやさしい」の、その先まで

鉄道は、1人を1km運ぶ際に排出するCO<sub>2</sub>量が自家用車の約1/9であり、「環境にやさしい」交通手段です。私たちは、これからも「乗るだけでエコ」になる鉄道の魅力を社会に発信しながら、次世代を担う子どもたちにより良い沿線環境を引き継ぐため、「環境にやさしい」の一步先を考え続けます。

## Commitment ～京急グループの目指す姿～

京急電鉄 グループ戦略部

世の中の環境に対する意識がますます高まる中で、これからの環境活動は、京急グループ全体が一丸となって進めていく必要があります。このため、あらためて京急グループ全従業員の意思統一をはかるべく、その指針となる「京急グループ 環境基本方針」および「行動指針」を制定しました。京急グループの環境に対する考え方は、すべてここに集約されています。

「未来を生きる子どもたちのために」。京急グループは、これからも「環境にやさしい存在」であり続けたいと考えています。



京急電鉄では「ノルエコ」(乗ることがエコ、乗るだけでエコ)をキーワードにしたポスターを電車内および京急線各駅に掲出しています。富士山をバックに走るステンレス車両の周りには、澄み渡る空や青い海が望めます。事業活動において環境対策を推進することは、京急グループの使命であると考えています。



## 京急グループ 環境基本方針

私たちは、あらゆる事業活動や社会貢献活動を通じて、地球環境の保全と環境負荷の低減に努め、持続的発展が可能な社会の形成に貢献します。

### 行動指針

私たちは、環境にやさしい公共交通機関を中心に、さらなる利便性の向上と魅力ある沿線価値の創造に努めます。

私たちは、資源やエネルギーの有効活用と、廃棄物の削減・再利用・再資源化への取り組みを通じ、環境負荷の低減に努めます。

私たちは、次世代を担う子ども達に、より良い沿線環境を引き継ぐため、沿線の豊かな自然との共生・保全に努めます。

私たちは、あらゆるステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを大切に、地域社会との協調・連携に努めます。

私たちは、環境に関する法令等を正しく理解・順守するとともに、啓発・教育活動を通じて、社員一人ひとりの環境意識の向上に努めます。

### ▶ 環境負荷データ

鉄道をはじめとする各事業活動を行うには、エネルギーや資源(Input)が必要であり、また、その事業活動からは二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)等の地球温暖化物質や廃棄物(Output)が発生します。

京急電鉄では、事業活動における環境負荷を定量的に把握し、その低減に努めています。

#### 京急電鉄 マテリアルフロー総括表

Input		Output	
水道	392,238m <sup>3</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量	110,917t
電力	263,059,062kWh	電力	109,959t
都市ガス	133,689m <sup>3</sup>	都市ガス	298t
プロパンガス	81,769m <sup>3</sup>	プロパンガス	536t
灯油	18,601ℓ	灯油	46t
軽油	8,937ℓ	軽油	23t
ガソリン	23,591ℓ	ガソリン	55t
		廃棄物排出量	12,114t
		廃棄物リサイクル量	8,288t
		廃棄物リサイクル率	68%

※参考:環境省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧(平成22年3月改正)

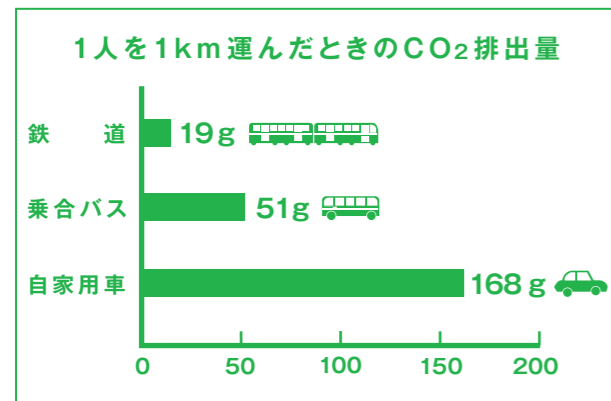
## 鉄道事業の取り組み

### ▶ モーダルシフトへの取り組み

鉄道・バスなどの公共交通機関は、エネルギー使用量が少なく、また地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出量も少ない、環境にやさしい乗り物です。

私たち公共交通を担うものができる最大の環境貢献は、お客さまから見た乗り物としての魅力を高めることにより、環境負荷の大きい自家用車から、公共交通機関に乗り換えていただくことで、環境負荷を軽減する“モーダルシフト”を推進することであると考えます。

自動車から、環境にやさしい鉄道・バスへ。地球温暖化を防いで環境を守るために、より多くのお客さまに公共交通機関をご利用していただくためのさまざまな取り組みをご紹介します。



\*交通エコロジー・モビリティ財団「運輸・交通と環境」(2009年版)より

### ▶ 駅構内の案内掲示板をLED化

電力の消費量が少ないLEDを使用した案内表示板の採用を進めています。改良工事中の京急蒲田駅、羽田空港国際線ターミナル駅をはじめ、各駅で順次LED化を行っています。また電気時計や踏切警報機および色灯式信号機にも採用しています。

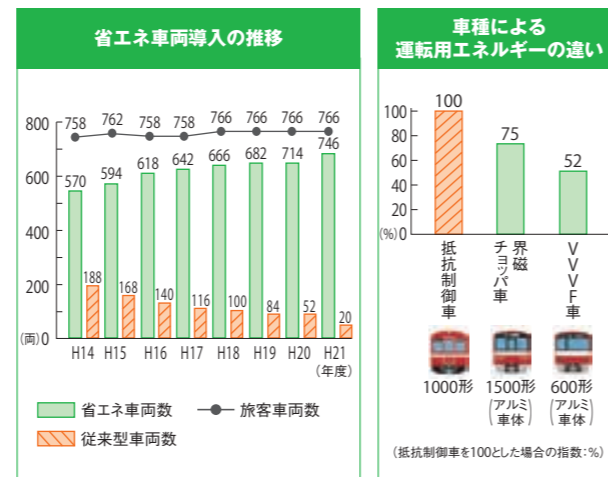


### ▶ 省エネルギー車両

従来の電車の電気ブレーキは、発生した電力を抵抗器で消費して熱として発散させていましたが、この電力を架線に戻し、他の列車の動力源として有効利用できる「電力回生ブレーキ」を備えた「界磁チョップ制御方式」を昭和53年度から、さらに電力回生効率を高めた「VVVF制御方式」を平成2年度から採用しています。

この電力回生ブレーキによる電力量の節減効果は、現在約30%に及んでいます。

また、車両の軽量化を図るため、昭和63年度以降「アルミ合金製」車体、平成19年以降「ステンレス製」車体にした車両を採用し、従来車に比べ約20%の軽量化が達成され、電力量の節減に大きな効果をもたらしています。



### ▶ 京急ファミリー鉄道フェスタ

「京急ファミリー鉄道フェスタ」を毎年5月に京急ファインテック久里浜事業所で開催しています。

一般のお客さまに京急電鉄の鉄道事業を理解していただくと同時に、モーダルシフトへの理解を求めてまいります。

平成21年度は京急にまつわるECOクイズ形式のスタンプラリーを実施するなど、楽しみながらエコを学べる工夫をしています。



## バス事業の取り組み

### ▶ ネットワークサービスの拡大

同じ自動車であっても、マイカーからバスへの転換はモーダルシフトをはじめ、環境負荷の軽減に大きく貢献します。京急グループでは、空港リムジンやアクアライン高速バス等のネットワークの拡充を進めることで利便性を高め、公共交通事業としてマイカーの利用を抑制する役割を担っています。

#### 空港連絡バス

現在、羽田空港と各地を結ぶ39路線を運行し、ライド&フライトを推進しています。



#### コミュニティバスの運行

道幅が狭く、大型バスを乗り入れることが困難な交通不便地域での小型バスによる運行を拡充することにより、マイカー利用を抑制する効果が期待されています。平成21年度において京急グループでは、横浜市金沢区で2路線の小型バスによる運行を開始しています。



### ▶ 省エネ運転の推進

京急グループでは、省エネ車両・低公害車両の導入とあわせて、省エネ運転の推進に取り組んでいます。アイドリングストップの徹底をはじめ、バスの速度やエンジン回転数を記録するデジタルタコグラフを導入し、そのデータを分析し、乗務員教育に生かす等、乗務員のエコドライブに対する意識向上を図っています。

### ▶ 省エネ車両・低公害車両の導入

#### ハイブリッドバス

ディーゼル車は、発進や加速時などエンジンを吹かすときに、最も多く窒素酸化物(NO<sub>x</sub>)や粒子状物質(PM)を排出します。ハイブリッドバスには、ディーゼルエンジンを発電のみに使用し、モーターを駆動力として使用するもの、発進や加速時にモーターでディーゼルエンジンの駆動力をアシストするものなどがあり、いずれも排出量を大幅に削減するとともに低燃費を実現しています。

#### アイドリングストップバス

都市部ではバスの走行環境が悪く、信号待ちや渋滞等により、停車している時間がかなりの割合を占めます。停車中にエンジンを停止するだけでも環境負荷の低減効果が大きいことから、京急グループでは、停車時に自動的にエンジンが停止するアイドリングストップバスを、平成7年度から導入しています。

#### CNGバス

京急グループでは大気汚染の原因である窒素酸化物(NO<sub>x</sub>)や粒子状物質(PM)の排出量が大幅に少ない圧縮天然ガスを燃料とするCNGバスを平成14年度から導入しています。

#### 最新排ガス適応車両

京急グループでは、自動車のNO<sub>x</sub>・PM法、東京都環境確保条例等に対応するため、従来から最新の環境対策を施した車両を導入していますが、平成19年9月の新車購入時から、世界でもっとも厳しいとされる基準「平成17年(新長期)排出ガス規制」に適合した車両を導入しています。また、改正省エネ法に定められた「平成27年度重量車燃費基準」をクリアした低燃費車両も積極的に導入し、排出ガスの削減に努めています。



## その他の取り組み

### 環境負荷低減

#### ▶ 客室フロア照明のLED化

ホテル グランパシフィック LE DAIBA

ホテル グランパシフィック LE DAIBAは、ISO14001（環境に配慮した経営を行うための管理システム）の認証を平成16年に業界に先駆けて取得するなど、「環境にやさしいホテル」を全社の方針として掲げていますが、CO<sub>2</sub>の更なる削減のため、照明のLED化を実施しています。

一般的なLEDの寿命は4万時間といわれており、通常の使用であれば約10年、24時間点灯しても約5年の寿命があるとされています。

平成22年8月時点で、客室の入口灯や廊下の照明など20フロア合計で4,092個がLED化されました。これにより、年間CO<sub>2</sub>排出量約547tの削減が見込まれます。



#### 資源の有効活用

客室で使われるシャンプー類を、使い捨て容器から詰め替え式に変更し、これによりゴミの削減やアメニティ類の無駄な廃棄を抑制しています。



#### ▶ 排水の中和

京急ウイズ

クリーニング工場において、シーツや枕カバー等を洗濯して出たアルカリ化した汚水を装置で中和してから排水し、環境負荷の低減に努めています。

#### ▶ 「EA(エコアクション)21」の認証を取得しました

京急緑地開発

京急緑地開発は、平成21年7月に環境省が推奨する「EA21」の認証を取得しました。

「EA21」は、環境経営システムを通し、地球環境を守るため、CO<sub>2</sub>総排出量・廃棄物の削減目標を定め、継続的に取り組み、その達成後、第三者機関の審査を受け、認証を取得する制度です。

認証取得により企業としての信頼性が向上するとともに大手企業、行政機関が取引や入札条件のひとつとする「サプライチェーンのグリーン化」にも対応することが可能となりました。

また、認証を機に、環境に対する社員の意識が高まり、それが経費節減につながるなどの効果も生まれています。

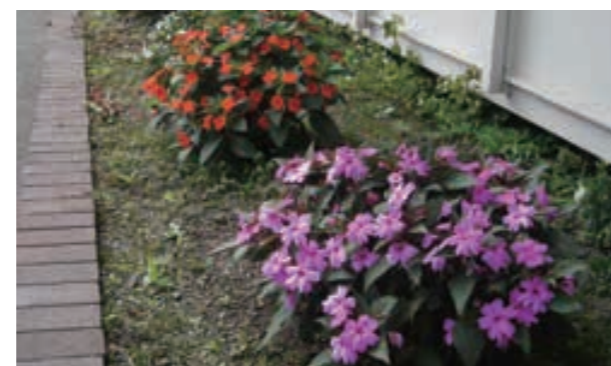


#### ▶ 温暖化ガスを吸着する植物の植樹

京急ファインテック

京急ファインテックでは、温暖化ガスの吸着効果に優れるといわれる「サンパチェンス」の植栽を進めています。

「サンパチェンス」は、通常の植物と比べて4~6倍ものCO<sub>2</sub>吸収能力を持つほか、「うち水」と同様の効果があることも実証されています。



### 森林保全

#### ▶ 横浜市水源エコプロジェクト(W-eco・p)協定第1号に京急百貨店

京急百貨店

京急百貨店は、横浜市水道局の推進する「水源エコプロジェクト(W-eco・pウィコップ)」の第1号として、協定を締結しました。

この協定は、横浜の水源である山梨県道志村の森林約10haにおいて、京急百貨店の寄附により間伐を中心とした5年間の整備を支援し、健全な森の育生と、ヨコハマのおいしい水の確保を目指すものです。



### 社会貢献活動

#### ▶ 環境保全をテーマにした地域貢献活動

京急油壺マリンパーク

京急グループ唯一の水族館である京急油壺マリンパークでは、昭和45年に博物館相当施設に指定を受けて以来、社会教育施設として紹介展示に努めてきましたが、平成21年新たに3つのテーマを柱に地域貢献活動を推進し、環境保全をPRしていくこととしました。

- ①「子供たちに学習の場を提供(教育普及活動)」
- ②「絶滅のおそれがある動物保護(繁殖保護活動)」
- ③「環境問題を題材にした『いるか・あしかパフォーマンス公演(環境問題告知活動)』」

#### ▶ 絶滅危惧種の保存

京急油壺マリンパーク

京急油壺マリンパークは、絶滅危惧種の繁殖保護活動を地域や学校とともに取り組んでいます。

平成19年以降は、神奈川県絶滅危惧対象種である、三浦産メダカ・横須賀産イモリ・三浦産ニホンアカガエル・横浜産ホトケドジョウの保護繁殖に成功しました。



#### ▶ 「京急百貨店はぐくみの森」バスツアーを実施

京急百貨店

平成21年7月、横浜市水道局と共同で、キッズサークルの親子15組30名さまと「京急百貨店 はぐくみの森」の名前を応募していただいたお客さまを招待し、道志村への「記念植樹式ツアー」を実施しました。現地では、記念植樹にご参加いただいたほか、山の幸を中心とした地産地消弁当、道志川での川遊び、温泉などをお楽しみいただきました。

また、10月には、横浜市水道局と共同で、道志村への「間伐体験ツアー」を実施しました。現地では、道志村の豊かな自然に触れながら、参加者全員で実際に森林整備の間伐作業を行い、その取り組みの重要性を学ぶ機会として座談会を開催して、お客さまと行政を交えた意見交換を行いました。



#### ▶ あきたECOraisu「あきたこまち」の稲刈り

京急電鉄

平成21年9月、京急電鉄が秋田県およびJA全農あきたと共同で行う「京急あきたフェア」の一環として田植えを行った「あきたECOraisu」の稲刈りを行い、関係者および京急グループ従業員と地元の合川北小学校4年生の17名が参加しました。自ら田植えをしたお米「あきたこまち」を収穫することで、食物を育てることの大変さと大切さ、そして環境への配慮がいかに必要かを体感する良い機会となりました。

「あきたECOraisu」は、使用農業を慣行栽培の半分以下に削減した、環境にやさしい秋田県のお米です。





ずっと社会から必要とされる京急であるために

## ゆるぎない信頼関係の、その先まで

私たち京急グループのあらゆる事業は、社会や地域住民の方とのコミュニケーションや信頼関係なしには成り立ちません。京急グループと皆さまとの間にゆるぎない信頼関係を築くために日々努力を積み重ね、その先にある地域社会と一体となった事業の発展を目指しています。

### 地域社会とのコミュニケーション

#### ▶ しながわ夏・まつり ～ありがとう39～

品川駅前の地で39年間にわたり地域の方に愛されてきたホテルパシフィック東京が平成22年9月30日をもって閉館しました。お客さま・近隣地域住民の皆さま・近隣企業の皆さまのこれまでのご愛顧に感謝の意を込めて、8月6日・7日の2日間「しながわ夏・まつり ～ありがとう39～」を開催しました。毎年開催してきた「しながわ夏・まつり」の特別版として、縁日・屋台・物販・ステージショー・グループ会社PRコーナー・京急なりきり撮影会などのプログラムを実施。両日で約7,000名の方にお越しいただき、ホテルパシフィック東京で過ごす最後の夏を楽しんでいただきました。



#### Point of view

ホテルパシフィック東京 営業企画担当

この「しながわ夏・まつり」は、当ホテルと地域の皆さまとのコミュニティ催事となるよう企画しました。近年では、春になると皆さまから「今年はいつ？」と聞かれるほど地域の季節イベントとして根付いてきたと思います。残念ながら「しながわ夏・まつり」は今回限りとなってしまいましたが、今後は、この経験を「グランパシフィック LE DAIBA」で活かし、お台場という新たな場所でホテルが中心となったコミュニティを創造し、地域社会に貢献していきたいと思っています。



#### ▶ 神奈川産学チャレンジプログラム

京急百貨店 京急ストア  
京急システム 京急アドエンタープライズ

「神奈川産学チャレンジプログラム」は、社団法人神奈川経済同友会が主催し、神奈川県内の企業と大学の産学連携による人材育成を目的とした調査・研究プログラムです。

各参加企業が提示する事業テーマに対して、大学生による参加チームが、およそ4か月かけてレポートを作成してプレゼンテーションを実施し、会社ごとに優秀な論文を選出・表彰しています。京急グループからは、京急百貨店、京急ストア、京急システム、京急アドエンタープライズなどのグループ各社が協賛しており、テーマ提示を行うなどプログラムの発展に協力しています。

#### ▶ 職場体験の受け入れ

京急百貨店 京急ジョイフル 京急伊豆開発  
京急油壺マリンパーク

京急百貨店では、横浜市を中心とする中学校および高等学校における職場体験のカリキュラム実施に協力しています。生徒たちの研究テーマに関する売場従業員へのインタビューや実際の販売活動の体験などを通じて、学生の企業および業界への関心向上に取り組んでいます。

京急ジョイフルでも、大田区の中学校からのご依頼を受け、平和島スターボウルおよび平和島温泉クアハウス（※平成22年11月3日のリニューアルオープン後「天然温泉平和島」に名称変更）において職場体験を実施。京急伊豆開発でも伊豆長岡京急ホテルにて、地元小学校の職場体験に協力しています。京急油壺マリンパークは、地元三浦市の市職員の地域密着研修、近隣小学校教員の社会体験研修、近隣中学生の職場体験の受け入れを行っています。



#### Point of view

京急百貨店 紳士服売場担当

京急百貨店として職場体験に取り組んで4年目になります。中学生にとって、仕事として「お客さま」と触れ合うことは普段できない体験ですから、最初は緊張する生徒さんが多いですね。でも2日目になると少し慣れて、笑顔も出てきたりします。後日お礼状をいただくのですが、中学生としての素直な感想が書かれていて、それを読むと「担当してよかった」と改めて思いました。生徒の皆さんには、今回の職場体験を自分たちのこれからの生活や人生に少しでも活かしてもらえたらうれしいです。



#### ▶ 地域活動への協力

京急パシフィックホテルズ 京急開発

京急パシフィックホテルズでは、ホテルパシフィック東京のある高輪地区生活安全・環境美化活動推進協議会に協力し、品川駅高輪口周辺のクリーンアップキャンペーンに参加しています。平成21年6月18日と平成22年1月19日に行われたクリーンアップキャンペーンでは、清掃活動を行いながら、道行く人にゴミ・タバコのポイ捨て禁止を呼び掛けました。

京急開発では、毎年大田区が開催している地域振興イベントである「OTAふれあいフェスタ」へ京急開発グループとして参加するとともに、ボートレース平和島を会場として無償提供しています。



#### ▶ 小網代の森エコ観察会

京急電鉄 京急油壺マリンパーク

京急電鉄は、平成22年7月14日に横須賀市の小学6年生を対象とし、NPO法人小網代野外活動調整会議代表理事でもある慶應義塾大学の岸由二教授をお迎えして、地元小網代の森のエコ観察会を実施しました。干潟での観察会では、岸教授にカニの生態について解説していただくなど、参加した子どもたちにとって、地元の自然の素晴らしさを改めて感じる機会となりました。京急油壺マリンパークでは、「いるかあしか」のからだ説明会とふれあい体験も実施しました。



#### ▶ ヨット競技オリンピック候補の支援

葉山マリーナ

葉山マリーナでは、子どもヨットスクールの卒業生から平成20年の北京オリンピック出場者が選出されたのを機に、五輪出場ヨットチームが葉山マリーナでトレーニングを行えるよう支援しました。引き続きロンドンオリンピックに向けて支援を継続しています。



## お客さまとのコミュニケーション

### ▶ 京急ご案内センター

京急グループでは、京急をより身近に感じていただけるよう、京急ご案内センターを開設しています。京急線の時刻や運賃、お忘れ物のご案内はもちろん、京急グループのサービスや施設に関するお問い合わせやご意見・ご要望を受け付けています。

#### ■ 京急ご案内センター

TEL 03-5789-8686 または TEL 045-441-0999

受付時間：平日 7:30～21:00 土・日・祝日 9:00～17:00

#### ■ 臨港バスのご案内専用番号 TEL 044-245-8686

受付時間：平日 9:00～19:00 土・日・祝日 9:00～17:00

主な受付内容

- 臨港バスの時刻、運賃のお問い合わせ
- バス乗り場、路線に関するお問い合わせ
- 臨港バスグループの各施設についてのお問い合わせ

### ▶ お客さまの声をサービスに活かす取り組み

電車・バスをはじめとした京急グループのサービスを、より便利に、より快適にご利用いただけるよう、京急では、お客さまの声をサービス改善に活かす取り組みを行っています。

京急ご案内センターに、毎日寄せられるお客さまのご意見・

ご要望は、データベース化され、分析をしたうえで、担当部署・各グループ会社へ報告されます。京急ご案内センターと担当部署・各グループ会社が連携し、改善を目指すことで、お客さまにより良いサービスを提供できるように努めています。

### ■ 平成21年度のお客さまの声を活かした具体的な取り組み ■

#### 京急線の運行情報メール配信サービスを開始

**お客さまの声** 電車の遅延などの運転状況を、携帯電話にメールで知らせしてほしい。

**取り組み** 平成21年11月18日から、携帯サイト『京急モバイル』をリニューアルオープンし、京急線全線にわたり10分以上の遅れ・運転見合わせが発生または見込まれる場合に、あらかじめ登録していただいた方にメールを送るサービスを開始しました。

#### 大鳥居駅西口駅前に柵(バリカ)を設置

**お客さまの声** 大鳥居駅西口は、違法駐輪の自転車が歩行の邪魔であり、改札口へ向かうときも、自転車をよけて通らなければなりません。対策をしてもらえませんか。

**取り組み** 平成21年12月から、敷地と歩道の境界に柵(バリカ)を設置しました。



## 株主・投資家とのコミュニケーション

### ▶ IRの基本的な考え方

京急グループでは、長年の事業実績による信用をベースに、引き続き地域に密着した事業を展開し、沿線の皆さまにお客さま、投資家の両面からご支援をいただくことが重要であると考えております。

そこで、個人投資家の方でも気軽に経営情報にアクセスできるよう、京急電鉄ホームページのIRサイトにおいて、決算短信、有価証券報告書のほか、株主総会や個人投資家向け会社説明会で用いた資料など、当社の経営情報に関する資料を公開しております。

### ▶ さまざまなIR活動

株主総会には、毎年約2,000名の株主の皆さまにご出席いただき、1年間の事業内容を、ビジュアルを用いてわかりやすく報告しています。また、丁寧な質疑応答を通し、開かれた株主総会を実践しています。さらに京急グループの経営方針や将来展望、株式や株主優待制度などを、より多くの皆さまにご理解いただき、京急グループをご支援いただくため、機関投資家・個人投資家向けの会社説明会を毎年開催しています。また、当社の事業をより深く理解していただくため、株主の皆さまにグループ施設等を見学していただくイベントを開催しています。



## 従業員とのコミュニケーション

### ▶ 障がい者雇用の取り組み

障がい者雇用の促進は「あらゆる人がともに住み、ともに生活できるような社会を築く」というノーマライゼーションの理念のもと、各企業にはその理念の達成および企業の社会的責任の一端として障がい者の雇用が求められています。

京急グループでは法令や社会的規範に則り、企業としての社会的責任を果たすとともに、地域社会との協調・連携に努めるよう「障がい者の雇用の促進等に関する法律」に基づき特例子会社および関係会社の特例認定を受け、障がい者の雇用促進と就業機会の拡大を進めています。

### ▶ 女性従業員の積極的な採用

京急グループでは、女性従業員の採用に積極的に取り組んでいます。駅係員や乗務員(運転士・車掌)など、鉄道事業においても女性従業員のための就業環境を整備し、同時に仕事と育児の両立を支援する制度の拡充や職場の雰囲気づくりを推進しています。

鉄道事業では、平成22年7月末時点で、駅係員84名、車掌13名、運転士4名の女性が活躍しています。



### ▶ 再雇用の推進

少子高齢化が進む現在、京急グループでは平成13年から定年退職者の再雇用制度を導入し、シニアスタッフとして定年をむかえた従業員を再雇用しています。

平成22年3月末時点で、176名が在籍し、専門性の高い業務を行っています。フルタイムやパートタイムなど、シニアスタッフ本人の希望を取り入れることにより、働きやすい環境づくりに力を入れています。

この制度は、改正高齢者雇用安定法の順守だけでなく、シニアスタッフの経験・技術の伝承や多様な雇用形態による生産性の向上においても必要不可欠なものとして位置づけています。

### ▶ キャリアアップ支援

京急電鉄 京急ビルマネジメント 京急ショッピングセンター 京急ストア

京急ビルマネジメントや京急ショッピングセンターでは、従業員の資格取得に奨励金を拠出する制度を設けています。

また京急ストアでは、従業員の更なるキャリアアップを図るために、毎年独自に作成している「通信教育ハンドブック」を従業員に配布し、資格等取得の支援を行っています。

#### Point of view

京急ストア 総務部人事担当

資格取得支援は、従業員教育の一環として平成21年度から始めた制度で、『京急ストア 通信教育ガイドブック』というものを全社員に配布しています。従業員からは「このような機会をもらえてうれしい」という反応をいただいています。一度受講して終了した人や資格を取得した人は、より上の資格や他の講座へチャレンジするなど、モチベーションが上がるケースが多いようです。私自身、通信教育だけでFP資格\*が取れたことで自信が付き、周りに受講を勧めやすくなりました。

\*ファイナンシャルプランナー資格



### ▶ 安全で健全な職場環境の整備

全国安全週間の期間中に、「京急グループ安全大会」を開催しているほか、安全衛生関係の講演会や研修会を実施し、従業員の安全・衛生意識の啓発に努めています。また、「京急グループ安全大会」の開催日にあわせ無事故・無災害団体の表彰を行うなど意識の向上を図っています。

### ▶ 従業員の健康への配慮

京急電鉄は、定期健康診断実施時に成人病検診もあわせて実施し、従業員の健康管理に努めています。

さらに、従業員全員を対象とした「ヘルスアップ京急2009」キャンペーンを実施し、社員の健康に対する意識の向上を図っています。参加者には万歩計を配り、1日に7,000歩以上のウォーキングと生活改善行動計画の中から1つを選んで91日間チャレンジし、結果が優秀な参加者には記念品を出しています。

また、メンタルヘルス対策として週一回、京急グループ診療所に精神科専門医を配置しているほか、相談窓口(電話による相談も可)の設置など、従業員が相談しやすい体制を整えています。

### ▶ ヘルシーメニューの提供

京急パシフィックホテルズ

京急パシフィックホテルズでは、ホテルで働く従業員の健康維持およびメタボリックシンドローム対策として、従業員食堂のメニューにカロリー量を抑えたヘルシーメニューを導入しています。

# CSRマネジメント体制の構築

京急は、グループ全体が協力して社会的責任を果たし、豊かな都市生活の基盤づくりを通じて社会に貢献できるよう、CSR推進体制の充実に注力しています。

## コーポレート・ガバナンス

### ▶コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方

京急グループは、法令を順守し、経営の透明性・健全性を確保したうえで、経営環境の変化に対応し、適時かつ適切に意思決定と業務執行を行うことにより、企業価値の向上を目指しています。

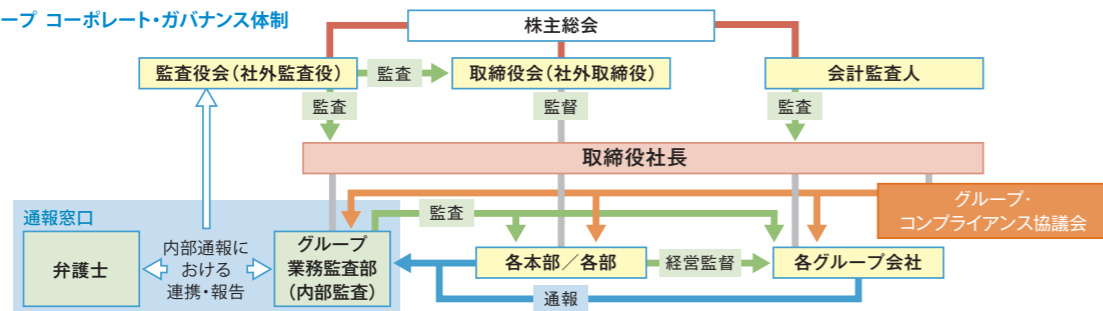
京急電鉄は、現状において、適時かつ適切に取締役会等の運営を行い、迅速かつ適切な意思決定ができていますと考え、従前どおり監査役制度を採用しています。取締役会は、社外取締役2名を含む15名から構成され、原則毎月1回開催し、法令・定款で定められた事項や経営上の重要事項の決議および報告ならびに業務執行の監督を行っています。また、常勤取締役および常勤監査役で構成する常務会は、原則毎月3回開催し、取締役会に付議する事項はもとより、詳細な業務に関する事項の決議および報告を行っています。さらに、監査役会は、社外監査役4名を含む5名から構成され、年6回開催し、各監査役の監査状況の報告および監査意見の形成を行っています。各監査役は、経営状況の監査や取締役の職務遂行の適法性などの監査を行うほか、取締役会や常務会などの重要な会議に出席し、必要に応じて意見陳述を行っています。このほか、

代表取締役と監査役との間で職務遂行や監査に関し定期的に会合を行い、当社の現状における課題や今後の監査方針などについて意見交換を行っています。なお、取締役の事業年度の経営責任を明確にするとともに、経営環境の変化に迅速に対応した経営体制を構築することができるようにするため、取締役の任期は1年としています。

京急電鉄は、公共交通機関を中心に事業を行う当社の社会的責任を踏まえ、短期的な業績に限らず、事業継続の大前提となるサービス・商品の安全確保など中長期にわたる企業価値向上を実現するため、取締役会においては当社グループの事業や戦略に精通する取締役を中心とした体制をとっています。また、社外役員が独立した立場から経営に参画することで、さらに透明性、客観性の高いコーポレート・ガバナンス体制を推進できることから、上記に記載した体制をとっています。

グループ全体においては、グループとしての経営方針の徹底と経営情報の共有化を図るため、京急グループ社長会を定期的に開催し、グループ統治機能の強化に努めています。

京急グループ コーポレート・ガバナンス体制



## 危機管理体制

### ▶リスクマネジメントの基本的な考え方

公共交通機関を中心に事業を行う当社の社会的責任を踏まえ、サービス・商品の安全・安心を確保するため、京急グループ危機管理規程に基づき、平時から安全対策に積極的に取り組むとともに、万一の事故や災害等の発生に備え、各種対応方法を整備します。また、危機発生時に、グループ全体の情報を集約・共有することにより、危機のすみやかな収拾と再発防止を図ります。

さらに、グループ全体のリスク情報を管理するため、各部門は当社事業に係るリスク情報を把握し、損失の最小化を図るための対策を講じます。このほかグループ業務監査部は、各部門および各グループ会社のリスク管理体制についての監査を行います。

各部門が把握するリスク情報については、グループ全体のリスク情報として集約し、グループ・コンプライアンス協議会において情報の共有化を図っています。

### ▶危機管理委員会・危機管理責任者

グループ全体の危機に対応する事項を検討・立案する「危機管理委員会」を設置し、平時から安全対策などに積極的に取り組んでいます。また、京急電鉄の各部長とグループ会社社長を「危機管理責任者」とし、危機管理委員会の方針および指示に従い、自部署・自社における具体策の立案・実行・見直しを行っています。

### ▶危機対策総本部

重大な事件、事故、不祥事、自然災害、疫病、テロの発生など、グループ全体での対応が必要な場合には、京急電鉄の社長を本部長とした「危機対策総本部」を設置し、迅速かつ正確な事実確認と情報公開を行うとともに、ステークホルダーの損害を最小限にとどめるための活動を行います。

## コンプライアンス

### ▶コンプライアンスの基本的な考え方

京急グループでは、法令や社会規範に則り、京急グループを取り巻くすべての皆さまからの信頼に応え、企業市民として期待される社会的責任を果たすために、「京急グループ・コンプライアンス指針」、「京急グループ・役員および従業員行動基準」を策定しています。

#### ■京急グループ・コンプライアンス指針■

- 1.お客さまに対して**  
お客さまの豊かな生活のために、安全で、満足を得られるサービス・商品の提供に努めます。
- 2.株主・投資家に対して**  
投資に対する期待に応えるために、長期的・安定的な企業価値の増大を目指した事業活動と、適時・適切な会社情報の開示に努めます。
- 3.地域・社会・環境に対して**  
よりよい社会の形成に貢献するために、地域社会との協調・連携に努めるとともに、地球環境を守るために、環境への負荷軽減に努めます。
- 4.取引先に対して**  
相互の繁栄のために、合理的な商慣習に則った、公正・透明な取引に努めます。
- 5.従業員に対して**  
従業員が安心して意欲的に働くことができるために、個人の尊重と、良好な職場環境の維持・向上に努めます。

#### ■京急グループ・役員および従業員行動基準■

- 1.お客さまに対して**  
(1) 私たちは、常にお客さまの安全を最優先に考え、サービスや商品を提供します。  
(2) 私たちは、お客さまのニーズを把握するとともに、お客さまの声を活かし、満足度の高いサービスや商品の提供に努めます。
- 2.株主・投資家に対して**  
(1) 私たちは、株主・投資家などから正しい評価を得られるよう、適時・適切な企業情報の開示に努めます。  
(2) 私たちは、業務上知りえた内部情報を利用して疑惑や不信を招く株式の売買等を行いません。
- 3.地域に対して**  
(1) 私たちは、地域に密着した企業グループの一員であることを自覚し、地域の発展のために活動します。  
(2) 私たちは、明るく住みやすい社会となることを目指して、地域社会への貢献に努めます。
- 4.社会に対して**  
(1) 私たちは、市民社会の秩序や安全を脅かす反社会的勢力との関係を断ち、毅然とした態度で対応します。  
(2) 私たちは、社会的に許されない政治献金や寄付、社会から誤解や不信を抱かれるような接待や贈答を行わず、また、受けません。
- 5.環境に対して**  
(1) 私たちは、地球環境を守る担い手として、環境への負荷軽減、資源の有効活用に努めます。  
(2) 私たちは、環境の保全に配慮し、自然環境と調和した事業活動に努めます。
- 6.取引先に対して**  
(1) 私たちは、不当な取引制限や、不正な方法による取引は行いません。  
(2) 私たちは、取引先との間で公正な取引関係を築き、会社と取引先の双方にとって最適な取引を行うよう努めます。
- 7.会社に対して**  
(1) 私たちは、会社の財産（知的財産、企業ブランドを含む。）を大切に扱い、その価値の維持・増大に努めます。  
(2) 私たちは、会社の重要情報およびお客さまや他社の機密情報を厳重に取り扱い、漏洩の防止に努めます。
- 8.役員・従業員相互の関係**  
(1) 私たちは、職場における事故の防止に全力を尽くし、安全で衛生的な職場環境の整備に努めます。  
(2) 私たちは、個人の人格と人権を尊重し、国籍・性別・宗教などによる差別やセクシュアルハラスメントなどの嫌がらせのない、明るく活気のある職場づくりに努めます。

### ▶コンプライアンスの基本的な考え方

京急グループは、個人情報保護に対する社会的要請に応えるべく、法令等を順守するとともに、個人情報保護に関する取り組み姿勢を明確にするため、プライバシーポリシーを定め、忠実に順守し実行します。

※個人情報保護方針の全文は、京急電鉄のWebサイトをご覧ください。

■京急電鉄  
トップページ▶京急の個人情報取り扱いについて

### ▶コンプライアンスに関する教育・研修

京急グループの全従業員が、コンプライアンスに対する理解を深め、一人ひとりが正しく行動できるよう、新入社員から管理・監督職まで階層別に研修を実施しています。また、「京急グループ・コンプライアンス指針」や「京急グループ・役員および従業員行動基準」をカードサイズに印刷した「コンプライアンスカード」を、全役員および従業員が携帯しており、常にその趣旨を意識し、行動できるようにしています。

階層別研修実施内訳

対象者	回数	延参加人数
新入社員	4回	458名
一般社員	4回	58名
昇格者	10回	178名
乗務員転籍者	2回	34名

※コンプライアンス協議会は除く

### ▶内部通報制度（内部通報窓口）

京急グループでは、所属会社や雇用形態を問わず、すべての従業員が利用できるコンプライアンス窓口を社内と社外の2か所に設置し、コンプライアンス違反に関する通報を受け付けています。

また、「内部通報規程」を整備し、通報者の保護など公正かつ適正な窓口の運営を徹底しています。さらに、コンプライアンスカードに窓口の連絡先を記載するなど、グループの全従業員に周知し、窓口の実効性を確保することで、コンプライアンス違反情報を早期に察知し、違反を防ぐ体制を構築しています。